

## 議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成24年11月10日(土) 午後1時30分～午後3時20分			
開催場所	足尾公民館			
出席議員	大門陽利		加藤 優	
	野沢一敏			
	代表者	大門陽利	司会者	加藤 優
	報告者	全員	記録者	青田兆史・野沢一敏
参加人数	4名			
報告内容	(別紙のとおり)			
主な意見・ 要望等	<p>《第2部「議会定数・議員報酬について」》</p> <p>(土田氏)</p> <p>1. 定数に関しては、日光市の地域特性である広大な市域、異なる風土文化。また、市民の代表でなく地域の代表という議員意識が強い現状を考慮すれば、地域の意見を聴取する観点から定数減には賛同できない。現状の定数30人でお願いしたい。</p> <p>2. 報酬については、市民の生活状況の推移をみれば議員報酬の削減も考えるべき。政務調査費がない現状をみれば多額の減額は無理。議会コストの面からみれば、定数より報酬で対処すべきと考える。</p> <p>3. 議員の資質の問題は重要。議員は市民の指導者、市民の政治意識を変えるのも議員の役割。</p> <p>(赤間氏)</p> <p>1. 定数に関しては、合併して6年余り経過するが日光市の一体感は十分には醸成されていない。中心地(今市)と地域(足尾)での格差が生じている。地域(足尾)の声が中央に届いていない。市政に十分には反映されていないと感じる。定数が削減されると更に地域の声が届き難くなることが懸念される。現段階では定数削減には反対。定数削減については一体感が十分に醸成されてから検討すべきと考える。</p>			

<p>主な意見・ 要望等</p>	<p>《第3部「その他（地域の課題）について」》</p> <p>（土田氏）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢化が進む中で生活支援対策が重要。生活の足、買い物支援について検討して頂きたい。</li> <li>2. 高齢者の緊急時における連絡体制。防災無線が今後変わる中で不安を覚えている。連絡体制の強化が図れるように検討して頂きたい。</li> <li>3. すのこ橋堆積場の問題。市長が対策協議会の会長として尽力していることは理解しているが、議会としても住民の生活の安全安心を考慮し現状をよく把握して対処を願いたい。</li> <li>4. 市広報誌の件。一回の広報誌の紙面量が多すぎるので読む気がなくなってしまふ。月2回の発行はできないか検討願いたい。</li> <li>5. 鬼怒川の廃業した旅館に放置されたごみの撤去について。議会は地区の環境美化委員と連携して対処すべきである。</li> <li>6. 議会をよく傍聴する中で感じたこと。一般質問の時間は答弁の長短に左右され、議員の質問時間が十分に確保できていない状況がみられるので質問時間はフリーにすべきである。検討を願いたい。</li> </ol> <p>（赤間氏）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の建設業の実情について。足尾地域の建設事業量が激減している。また、他地域からの受注参入がみられ大変な状況になっている。地域の建設事業者の廃業が続いている。このため台風集中豪雨など緊急時における体制づくりが困難な状況になっている。特に降雪時の除雪体制の維持ができなくなってきている。このような状況をよく考えて頂きたい。日光市の公共事業発注の仕方を地元優先・地元企業の育成の観点で検討を願いたい。また、治山事業の実施について、県への要望を願いたい。</li> </ol> <p>（土田氏）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人口減少・少子高齢化の問題は日光市にとって大きな課題。特に足尾地域は子どもたちの数も減少し寂しい状況にある。中長期的な定住人口の増加対策。雇用促進、子育て支援対策を願いたい。</li> </ol>
----------------------	---

日光市議会広報委員長 様

平成24年11月28日

上記のとおり報告いたします。

代表者 大 門 陽 利